

講座概要

タイトル： プロジェクト管理の問題点を解決する新プロジェクト管理の方法
日時： 2日間
対象者： 役員、プロジェクトマネジャー、リーダー、およびソフト営業担当者
募集人数： 20名

講座の狙い：

価値観あわせと落ちのない段階区分による手順創りから入るプロジェクト・マネジメントとシステム・エンジニアリング・マネジメントを同時に進めることのできる新手法です。また従来のマネジメントの方法の更に上流からはじめることのできる目で見えるプロジェクト・マネジメントの方法です。

プロジェクト管理技法の分野において、次のような問題点を解決します。（下記はその数例）

意思決定のメカニズムが明解になっているので、それを的確にできるようになる。
営業プロセスのブラックボックス内容の手順化とその作業実施が的確にできる。

「評価をするということは、何をしさえすれば評価をしたことになるのか」を明確にしているの
で、評価を的確にすることができる。（評価基準を明確にすることができる）

プロジェクトスコープをPMD、ステップリスト、WBSをつかってコンパクトかつ短時間で纏
めることができるようになる。

従来、少々混乱しているWBSという言葉の使い方が整理されているので、作業やその解釈上の
混乱がない。

問題という言葉と課題という言葉の使い分け共存ができる。

「知識を知恵にかえる方法」を使った「ウイズダム・マネジメント」の実施ができるようにな
る（これは世界ではじめての方法です）

目標値設計の実施の方法（デザインツ－・カスタマーズ・ニーズとデザイン・ツ－・コストの手
順）がある。

WBSとFTS（機能系統図）の関係を明確にしている。

コンピュータと機械で自動化できない思考と作業の部分についての見解がある。

技術屋が容易に判る、「知恵を作り出す管理会計の方法」を示し、創造技法、管理技法、会計の
方法をつなぐ統合手法となっている。

以上の方法は江崎が中心となって日本で、開発、実用化がなされた、DTCN/DTCの考え方
とその手順、(DTCN/Design To Customers' Needs DTC/Design To Cost) と呼ばれ、「課
題創出、課題実現、問題発見、問題解決の方法」として、最近いろいろな教科書に、とりあげら
れはじめ、国内外から大きく評価されている方法です。

その他

1. プロジェクト管理はガントチャート（線表）と対象物件・システムのWBSからスタート
することになっているが、そのガントチャートの前に必要な落ちのない段階的区分を決め
ることができます。そして、プロジェクトの結果対象とする物件・システムの効果的な構
造／構成のWBSを創り出す方法・手順を教えます。
2. その他、今までに開発されたマネジメントの効率を上げる技法には、VE、IE、QCと言
った方法があるが、それらをプロジェクト管理とどう繋いでいけばよいかを教えます。
3. 更に、創造技法であるNM法やKJ法は、アイデアの創出や、現象の納得には非常に有効

な方法ではあるが、その結果を具体的な業務にどう結びつけていくかについては不足などところがあるので、それらを継ぎあわせる方法を示します

4. 企業や官庁でのプロジェクトでは、新しい製品や組織を開発したり、目標コストの実現や目標性能の達成、改善作業をする必要がある。これらをシステムティックに実現していくための的確な手順を創る方法を創り出す考え方と手順を示します。(D T C / デザイン・ツー・コストの実施)
5. 管理者の立場から、ある課題を実現するために関係者の心を同じ方向に向け、共通のコンセンサスとモチベーションを持たせることができます。そのために使える、目で見える価値観あわせの方法を教えます。
6. 具体的に与えられた目標コストや性能を達成するためには、目的の結果に到達するまでの作業を段階的に区分して進める必要がある。これらの段階を、どのように区分し手順化しさえすれば、創造的で落ちのない。合理的な作業とその意思決定を段階的にできるかを教えます
7. 以上を含めて科学的方法と工学的方法ということばの間の混乱を解決します。
8. ノーレジ・マネージメントをウイズダム・マネージメントにかえることができます。